



大 阪 府 婦 防 協 だ よ り

“防災は 一人ひとりの かけ声で”
(大阪府女性防火クラブ連絡協議会キャッチフレーズ)

ご あ い さ つ

コロナ禍で学んだ教訓

大阪府女性防火クラブ連絡協議会

会 長 田 中 夏 美

平素は、大阪府女性防火クラブ連絡協議会の運営、活動にご支援・ご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。また、日頃から各クラブのリーダーを中心に、防火活動・自主防災活動など地域の防火防災に取り組んでおられる皆様に改めまして敬意と感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ変更になりました。未だ予断を許さない状況は続きますが、長いコロナ禍にもようやく落ち着きが見えはじめたように感じます。少しずつコロナ禍以前の生活様式を取り戻しつつある中、皆様のご家庭やご近所の方は、災害に対する備えはできていますでしょうか？依然いつ発生するかわからない「南海トラフ巨大地震」をはじめ、「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますように自然災害や火災等は、いつ起きるかかわからず、私たちの日常の中に影を潜めております。いま一度災害に直面した時、自分や家族がどのような行動ができるのかを考えていただければ幸いです。

コロナ禍の影響により、大阪府女性防火クラブ連絡協議会においては、近年は会議や研修会の中止、規模の縮小といった対応となっておりました。そのような活動に制限がかかった時期を経たことで、ご家族やご近所の方々へのお一



人おひとりの「声かけ」のような、人と人とのつながりが防火防災にもたらす力がいかに大きなものであるかを改めて身に染みて感じております。また、平穏な日々が戻りはじめ、人と接する機会も少しずつ増加している今こそ、地域の結束をより強くし、防火防災意識を向上させる絶好の機会なのではないでしょうか？

今後は、コロナ禍で学んだ人と人とのつながりの大切さを教訓とし、大阪府女性防火クラブ連絡協議会の皆様、各女性（婦人）防火クラブ員の皆様と心をつなげて、いざというときに活動できる体制を整えていただきますよう切望いたします。

終わりに臨み、関係各位におかれましては、大阪府女性防火クラブ連絡協議会に対しまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、各女性（婦人）防火クラブの今後益々のご活躍、ご発展を心よりご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

火を消して 不安を消して つなぐ未来

(2023年度全国統一防火標語)

大阪府女性防火クラブ連絡協議会

〈事務局〉

大阪府危機管理室 消防保安課 消防指導グループ

☎540-8570 大阪市中央区大手前2丁目

☎06-6941-0351 内線 4868

令和5年度 大阪府女性防火クラブ連絡協議会役員総会

令和5年5月17日(水)、府庁新別館北館大阪府災害対策本部会議室において、令和5年度大阪府女性防火クラブ連絡協議会役員総会を開催しました。

総会は、田中会長の挨拶で始まり、以下の議案について審議を行い、(1)～(5)について原案どおり決定されました。

- (1) 令和4年度事業報告
- (2) 令和4年度収支決算報告及び監査報告
- (3) 令和5年度事業計画
- (4) 令和5年度収支予算
- (5) 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会会則の改正について

令和5年度 事業計画書

実施予定月	事業内容
令和5年	
5月	○「役員総会」の開催
7月	○「代表者研修会」の開催
10月	○「役員会」の開催
11月	○「近畿ブロック女性防火クラブ等幹部研修会」(和歌山)
12月	○「指導者研修会」の開催 ○ 機関紙『大阪府婦防協だより』の発行 ○「大阪府防火クラブ大会」の開催
令和6年	
1月 (随時)	「代表者交流会」の開催 女性(婦人)防火クラブ設置促進 (一財)日本防火・防災協会等が主催する各種事業への参加 ・女性防火クラブ全国集会 (11月) ・応急手当普及啓発推進会議 (11月) ・全国婦人防火連合会総会 (1月)

協議会名の変更について

平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、当該法律第18条の中で「女性防火クラブ」が定義されて10年目を迎え、女性防火クラブの名称が定着してきました。そうした中、令和5年1月26日に、全国婦人防火連合会総会において、令和5年4月1日より「全国女性防火クラブ連合会」に改めることが議決されました。そこで、当協議会も社会情勢に合わせるべきではないかと考えたことから、令和5年5月17日の役員総会をもちまして「大阪府婦人防火クラブ連絡協議会」を「大阪府女性防火クラブ連絡協議会」へ名称を変更しました。



代表者研修会に参加して

松原市婦人防火クラブ連合会

中野 昌子

新型コロナウイルス感染症も5類相当となりましたが、感染拡大も第9波に差し掛かり終息が見えない状況の中、また、梅雨末期の非常に暑さが厳しい中、7月19日に大阪府咲洲庁舎において代表者研修会が開催されました。

研修会では、まず、大阪・関西万博の概要について説明して頂きました。

「いのち輝く未来社会」をテーマに、2025年4月13日から10月13日まで夢洲で行われ、会場の面積は155ha、リングの屋上からは会場全体を見渡せる事ができ、淡路島や明石海峡を一望できるすばらしいパビリオンが造られるということでした。

会場は3つのエリアに分かれているようで、パビリオンの展示は公式参加パビリオン、テーマ事業パビリオン、日本政府館、自治体館、企業パビリオンと5つに分かれ、これまで日本で開催された国際博覧会で最大規模の万博になるということでした。

研修の第2部は「気象の仕組みと天気予報、気象災害について知ろう!」というもので、気象の仕組み、天気予報、局地的大雨、気象災害、命を守るために知ってほしいこと、気象災害から身を守るため等、6つの項目について話して頂きました。

初めは雲や雨が出来る仕組み、高気圧、低気圧、前線とは何かをこと細かく話して頂き、とても勉強になりました。

最近、日本各地で大雨による災害が発生していますが、私が住む松原市は、災害が本当に少なく穏やかに生活できる事に感謝しています。しかし、これから先、何が起るかわかりません。普段から心掛けねばと今日はつくづく感じさせられました。災害が起れば、早期に勇気をもって避難を決断する事が一番大切な事だと教えられました。

今回の研修会は私達の身近に起こる、とても大切な有意義なお話でした。

2年先の万博の開催も昭和45年の大阪万博と同様、大勢の人達でにぎわう事だろうと楽しみにしております。

2025年の桜が満開になります様に……………。



「婦人防火クラブの活動」と「思い」

柏原市婦人防火クラブ

会長 大江 京子

私たち柏原市婦人防火クラブは、「家庭の防火は主婦の手で」を合い言葉に、昭和63年11月に発足致しました。本年度で発足35周年を迎えます。また私達の住む柏原市も、本年度で市制65周年を迎えます。富宅柏原市長は、「防災士」の資格を取得されており、幅広い知識から防火・防災に力を注いで下さっております。

私達婦人防火クラブ員は、「防火・防災研修会」等にも、積極的に参加させて頂き、そこで得た「情報・知識」を少しでも多くの方々に伝えて「防火・防災」に興味を持って頂けたらと思っています。

さて、婦人防火クラブ員の活動として本年は、三年ぶりに「柏原市羽曳野市藤井寺市」三市合同出初式が、挙行され参加させて頂きました。寒さ厳しい中ではありますが、身の引き締まる思いで元よく分列行進に参加させて頂きました。クラブ員の方々の顔も、はつらつと行進して達成感で輝いていました。

「春の全国火災予防運動」期間中には、近鉄河内国分駅前にて、柏原市長・柏原市危機管理室・火災予防協会役員の方々・消防長並びに消防本部予防課員の皆様と「火災予防啓発グッズ」を配布させて頂きました。一人でも、多くの方々に防火に対する関心を持って頂けたらとの思いで声かけをさせて頂きました。

「お疲れ様」と言ってグッズを受け取って下さる人もいれば、遠回りをして足早に無言で過ぎ去る方々もおられ、啓発活動に対する難しさを感じました。一人でも多くの市民の方々が「防火防災」に関心を持って下さることを心から願った一日でした。また視察研修会は、防火クラブ会員相互の親睦を図る良い機会ですが、コロナ禍で中止となっています。これから先も、様々な行事があると思いますが、精一杯努めさせて頂きたいと思っています。

私達柏原市婦人防火クラブ員も、高齢化が進み、このことが、悩みのひとつです。防火クラブが、末永く活動出来るように若い世代の入会を促進して、地域における「防火防災」の砦として活動に務めさせて頂きたいと思っています。

箕面市婦人防火クラブの 活動について

箕面市婦人防火クラブ連絡会

会長 南 野 喜代子

私たち箕面市婦人防火クラブは、「家庭防火」を合言葉として、市内各地で活動しています。

昭和57年に2クラブ139名で発足し、現在では5クラブ140名のクラブ員が、それぞれの地域で活動を行っています。

主な活動としては、火災予防の知識と技術を習得する防火講習会や地震や大雨などの自然災害を学ぶ防災講演会をはじめ、応急手当を身につける救急講習会などを定期的に受講し、それを広めることで地域の防火・防災意識の高揚を図っています。

春と秋の全国火災予防運動では、市内の大型商業施設において、住宅用火災警報器の設置促進や適正な維持管理を呼びかけるなど、消防職員、団員の方々と連携して街頭啓発を実施し、広く市民の皆さまに火災予防についての啓発活動をしています。

また、毎年1月3日に開催される消防出初式においては、消防職員、団員、学生消防隊「MATOY」及び少年消防クラブ員とともに分列行進を行い、「安全・安心なまちづくり」への決意を新たにしています。

さて、今年も各地で大雨による災害が発生し、河川の氾濫や土砂崩れにより、尊い生命や大切な財産が失われました。被災地の方々は、現在でも復興に向けた活動を続けておられ、大変なご苦勞をされていることと思います。いつどこで起こるか分からない災害に対し、私たち婦人防火クラブは地域のつながりを重視し、地域住民が協力し合うことにより災害をのりきっていく思いであります。

少子高齢化や核家族化、新しい生活様式が定着したことにより、人と人との繋がりが以前より希薄になってきたように感じます。クラブ員の減少等も懸念される時代ではありますが、普段から災害への備えを忘れることなく、安全で安心なまちづくりのため、私たちから積極的に行動を起こし、地域の防火・防災意識の普及啓発に努めていきたいと考えています。



摂津市三宅地区 女性防火クラブの活動について

摂津市三宅地区女性防火クラブ

副会長 北 本 隆 代

大阪平野の北部に位置する摂津市は、淀川の豊かな自然に生まれ、古くから農耕が盛んで、大阪と京都を結ぶ水陸交通の要衝としても重要な役割を担ってきました。

市域は東西6キロメートル、南北5キロメートル、面積は14.87平方キロメートルで、西は大阪市や吹田市、北は茨木市、東は高槻市、南は淀川をはさんで守口市や寝屋川市と接しています。

市内からは、北西にかけて六甲山や北摂の山々を、東から南には生駒や金剛の山並みを望むことができます。

大阪の都市部から約12キロメートルという距離にあり、大阪市やその衛星都市と幹線道路や鉄道で結ばれている本市は、大阪都市圏の核になる都市として発展を続けています。

摂津市女性防火クラブ連絡会は、市内3つのクラブの連合体として組織されています。その中で、私たち三宅地区防火クラブは、3番目に発足したクラブです。

現在は、消防団や摂津市防火安全協会等と連携を図り、街頭防火啓発活動、防火フェアや摂津まつりなど市として行う行事を始め、地域においても自主防災訓練での炊出し訓練、救命講習や盆踊りなど様々な活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響でこの3年間、感染拡大防止のため、イベントや行事、訓練等が相次ぎ中止となり、防火クラブの活動も行うことができない状況になっていましたが、ようやく今年度から活動できるようになりました。

これを機に、「私たちの家からは火を出さない！」というスローガンを改めて認識し、初心を忘れず、安全・安心の地域を作っていくため、より良いクラブ活動を行っていきたくと考えています。

また、若い世代の加入促進も行い、誰もが加入したい、加入してよかったと思えるクラブにしていきたいと思っています。

かき氷いかがですか～？

大東市女性防火クラブ連絡協議会

会長 守屋 美智子

令和5年9月17日(日)に4年ぶりとなる第43回大東市民まつりが末広公園で盛大に開催されました。お祭りを盛り上げるべく、大東市女性防火クラブは、かき氷とラムネ飲料の模擬店を出店しました。

家庭防火を担う私たちの存在を市民の皆さんにしっかりとアピールできるよう、住宅用火災警報器設置のほり旗を掲げ、ピシッとお揃いの真っ赤な女性防火ポロシャツを着て取り組みました。

「かき氷はいかがですか～」いちご、レモン、ブルーハワイの3種類はカップに山盛りで150円という最高のコスパ。朝から厳しい残暑のなか、女性防火クラブのテントの前には、ひと時の涼を求めて子どもから大人まで長蛇の列で大盛況となりました。途中、予想を大きく超えて準備していた氷や飲み物が底を尽きかけるなど、氷を売っている私たちが何度も冷や冷やしましたが、ギリギリのところでも何とかセーフ。休憩時間も十分に取れないほど大忙しでしたが、嬉しい悲鳴で充実した活動となりました。おかげさまで、夕方には完売となりました。

たかがかき氷、されどかき氷。熱い中並んでいるお客さんに喜んでいただけるよう、出来る限りお待たせせず、注文通りに確実に提供することの難しさ。注文を取って、口触りよく氷を削り、かっこよく盛って、シロップを2度かけるオペレーションの分業体制と円滑化は絶対です。イライラさせないような整列やお代金のやりとりも重要です。これって災害時にも活かせるのかも。

コロナ禍の活動制限が解除され、大東市女性防火クラブでも、ワイワイかつの賑わいを取り戻しつつあります。楽しく元気いっぱい、工夫を凝らして地域での防火・防災思想の啓発や活動に取り組んでまいります。



アフターコロナの今こそ

加納校区女性防火クラブ

会長 九門 仁子

私たちが住む東大阪市は「モノづくりのまち」「ラグビーのまち」として多くの方々に親しまれ、昨年にはNHKの連続テレビ小説「舞いあがれ!」の舞台として、全国的に注目を集めるまちとなりました。

そんな東大阪市の北部地域において、昭和63年11月に市内2番目の女性防火クラブとして「加納校区女性防火クラブ」が発足し、消防署のご指導の下、「地域の防火は家庭の防火から」を合言葉に、地域住民の繋がりに軸を置いた活動を中心として、防火意識の高揚を図ってまいりました。

しかし、この数年間はコロナウイルスという目に見えない脅威に、毎日の生活についても大きな変化を求められ、特にソーシャルディスタンスや外出自粛、在宅勤務の推奨により、地域住民の繋がりがやふれあいに関しましても大きな影響がありました。現に本クラブが例年実施していた様々な活動についても、ここ数年は、中止を余儀なくされる状況であり、制限された中での活動について思案する日々が続きました。

そんな、猛威を振るったコロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことにより、ようやく、様々な行動制限が解除されました。アフターコロナの日常生活が本格的に始まり、当然、コロナ前の生活様式に戻ることはありませんが、コロナ禍を通して、テレワークやDX化などは急激に進んだこともあり、防火・防災に関する広報啓発活動についても、様々な手法を用いて実施できる環境が整ってきております。また、生活意識の中心が『家の周辺』に移行したとも感じており、私たちの地域での活動が、今だからこそ力を発揮できるものと考えております。

「自助」「共助」「公助」の連携による地域防災力の向上に繋げるためにも、私たち防火クラブの活動を改めてブラッシュアップし、地域住民の「自助」「共助」に対する、さらなる意識高揚を図ることができるようリスタートしたいと思います。市民の皆様と共にクラブ員一同が One for all All for one の精神で、安心安全で住みよいまちとなるよう『トライ』していきますので、今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

活 動 再 開

岸和田市婦人防火クラブ

会 長 小 松 美 智 子

本クラブは、昭和61年に発足し、今年で37年目を迎えました。そして私は、本年4月にその重責による不安と期待のもと、第10代会長に就任いたしました。

ここ3年ほどは新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、クラブの各種事業について様々な制限の中で中止等を余儀なくされ、思うようなクラブ活動が実施できませんでした。しかし、そんな中で昨年9月、ようやく防火・防災研修会を堺市総合防災センターで実施することが出来、久しぶりに会うクラブ員と再会を喜び合い、終始ワイワイガヤガヤと賑やかな研修会となりました。体験コースツアーでは、豊富な知識と経験を持つガイドスタッフによるユーモアを交えた案内で、地震・風水害・火災等あらゆる災害について楽しい中にも真剣に学び、あらためて災害の恐ろしさを実感すると共に、しっかり備える事の重要性を再認識いたしました。

また、コロナも本年5月8日に法律上の位置づけがようやく「2類相当」から「5類」に移行され、年度当初の役員会ではコロナ禍以前の通常通りの事業計画を皆様にお示しすることが出来、いよいよ活発な活動が再開できるものと期待が膨らみます。

今年度事業では、コロナ禍での各種事業の中止等により発生したクラブ活動費の余剰金で、夏季活動服(オリジナルポロシャツ)を製作することといたしました。そして9月には、岸和田市消防本部の4階研修室におきまして防火・防災研修会(救急講習及び防災ゲーム)を救急隊及び岸和田市社会福祉協議会の皆様にご協力を得て実施し、活動服のお披露目も兼ねましてクラブ員の皆様には完成したお揃いのポロシャツでご参加いただきました。

今後も私たちクラブ員一同は、いつ発生するかわからない火災や大規模自然災害に備え、地域の連携強化や地域防災を担う人材の育成、また、自助、共助、公助による地域防災力の向上に心して努めてまいりたいと考えております。



岬町婦人防火クラブ連合会の 炊き出し活動について

岬町婦人防火クラブ連合会

四至本 美代子

岬町婦人防火クラブ連合会は、淡輪、深日、多奈川、孝子の4地区71名で構成されています。

今回は7月2日に岬町深日港で開催された消防フェアについて紹介します。

コロナウイルスの影響により、この3年間私たちの行動は制限されていました。行事が延期、中止になり、思うような行動ができず、人同士の交流が減っていく一方でしたが、今年ついにコロナウイルス感染症が第5類に移行され、行動制限が解消し私たちは普段の生活を取り戻すことができました。そんな中で、今年も消防フェアが開催されることになり、4地区が合同で協力、役割分担し、炊き出し訓練を行いました。

訓練では和気あいあいとした雰囲気の中、各地区がチームワークを発揮し、コロナ発生以前の活気のある雰囲気が蘇るとともに、本来、災害時に婦人防火クラブが担うべき使命を、各クラブ員が自覚することができ、大変有意義な活動とすることができました。

また現地では、想像以上に消防フェアに参加される方が大勢おられ大変うれしく思うとともに、炊き出し訓練で出来上がったお弁当を配布し、岬消防署の職員さんが手伝いながら、子どもに消防服を着てもらい、消防車へ嬉しそうに乗るお子さんを家族が写真を撮る。コロナ渦では考えられなかった光景を見て、人との関わり大切さを改めて実感することができました。

最後に、消防フェアに参加された方、本当にありがとうございました。関係者の方にとっては、朝早く日差しが照り付ける暑い中ご苦勞様でした。

災害はいつ何時発生するかわかりません。不測の事態に備え、岬町婦人防火クラブ一丸となり、岬町が災害に強い町に発展するよう、日々試行錯誤を繰り返しながら、災害が起きた際に迅速に体制を整え対応できるようにしていきたいです。



大阪府女性防火クラブ連絡協議会役員名簿

(会長、副会長、幹事及び監査委員の任期は令和5年5月から2年)

令和5年12月1日時点

市 町 村 名		代 表 者 名		事 務 局
東	寝屋川市	会長	田 中 夏 美 寝屋川市女性防火クラブ委員長	枚方寝屋川消防組合予防部予防指導課 ☎ 072-852-9912
	松原市		副会長	中 野 昌 子 松原市婦人防火クラブ連合会会長
北	箕面市	幹 事	南 野 喜代子 箕面市婦人防火クラブ連絡会会長	箕面市消防本部予防室 ☎ 072-724-9995
南	岸和田市		小 松 美智子 岸和田市婦人防火クラブ会長	岸和田市消防本部予防課 ☎ 072-426-8604
北 ブ ロ ック	吹田市	委 員	阪 本 緑 吹田市家庭防火クラブ連絡協議会会長	吹田市消防本部総務予防室予防グループ ☎ 06-6193-1116
	摂津市		田 賀 弥 生 摂津市女性防火クラブ連絡会会長	摂津市消防本部消防総務課 ☎ 06-6381-1171
	豊中市		山 本 のり子 豊中女性防火クラブ連絡協議会会長	豊中市消防局予防課 ☎ 06-6846-8445
東 ブ ロ ック	大東市	委 員	守 屋 美智子 大東市女性防火クラブ連絡協議会会長	大東四條畷消防組合大東消防署消防課 ☎ 072-871-4845
	東大阪市		九 門 仁 子 東大阪市女性防火クラブ連絡会会長	東大阪市消防局予防広報課 ☎ 072-966-9662
	四條畷市		佐 藤 温 子 四條畷市女性防火クラブ連絡協議会会長	大東四條畷消防組合四條畷消防署 ☎ 072-877-0119
中 ブ ロ ック	大阪市	委 員	前 田 葉 子 大阪市女性防火クラブ連合会会長	大阪市消防局予防課 ☎ 06-4393-6333
	河内長野市		中 村 美知代 河内長野市松ヶ丘婦人防火クラブ会長	河内長野市消防本部予防課 ☎ 0721-53-3699
	柏原市		大 江 京 子 柏原市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合予防課予防第1係 ☎ 072-958-9928
	羽曳野市		木 村 眞知子 羽曳野市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合予防課危険物兼保安係 ☎ 072-958-9929
南 ブ ロ ック	貝塚市	委 員	荒 本 政 美 貝塚市婦人防火クラブ委員長	貝塚市消防本部予防課 ☎ 072-422-9203
	和泉市		着 本 晴 美 和泉市女性消防クラブ連合会会長	和泉市消防本部予防課 ☎ 0725-41-6326
	泉南市		竹 中 智受代 泉南市婦人防火クラブ会長	泉州南消防組合泉南消防署 ☎ 072-485-0119
	岬町		四至本 美代子 岬町婦人防火クラブ連合会会長	泉州南消防組合岬消防署 ☎ 072-492-0119